

イギリスの船と港(その2)

会員 福富 廉

8. ウィンダミア湖

いわゆる湖水地方の中心で最大のウィンダミア湖は、大きさで言うと、日本の湖の23番目の諏訪湖ほどしかないが、幅が狭くて南北の長さが20km程あり、様々な観光船が走っていた。そのうち、大型船が4隻で、真ん中にはカーフェリーも走っていた。また、大型セーリング・クルーザーも何百隻単位で存在していて、ここは有名なアーサー・ランサムの「アマゾン号とツバメ号」の舞台でもある。



ウィンダミア湖の真ん中で稼働している両頭ワイヤー（チェーン）・フェリー「Mallaud」 両岸に渡したワイヤーを巻いて動いている



クラシックな大型遊覧船「Teal」



クラシックな大型遊覧船「Swan」



古風で特徴的な大型遊覧船「Tern」



新しい大型遊覧船「Swift」



小型遊覧船「Miss Westmorland」



小型遊覧船「Miss Cumbria IV」



主にハイカーのための対岸への渡し船「Queen of the Lake」



湖の中心、ボウネスに停泊する「Teal」



湖の南端レイクサイドの港と鉄道駅
遊覧船と保存鉄道が接続する



ウィンダミア・ジェット博物館の入口
かつては蒸気船博物館という名称で湖の水運を紹介している

9. サザンプトン、カウズ

この日の入港船は「Celebrity Apex」「MSC Virtuosa」「Iona」の3隻。サザンプトンのシップ・ウォッチングとヨットの聖地、ワイト島のカウズ訪問を兼ねて、レッド・ファンネルのフェリーでイースト・カウズまで往復乗船した。復路では目論見通り、出港する「Celebrity Apex」とのすれ違いを撮影することができた。また、この期間は有名な外輪船「Waverley」がこの港に来ているのはわかっていたが、当日はワイト一周クルーズに少しの差で出港して行って撮影はできなかった。なお、こちらには海上自衛隊の練習艦「しまかぜ」がロンドンに寄港した「かとり」とは分かれて在泊していた。また、カウズでは、以前も注目したチェーン・フェリーを再度利用してきた他、スペインのレプリカ・ガレオン船「Galeon Andalucia」が寄港して有料公開を行っているのも見ることもできた。



「MSC Virtuosa」(MSC Bellissima より一回り大きいメロリア・プラス・クラス) と「Celebrity Apex」(上と左) 「Iona」(右下)



出港して行く「Celebrity Apex」 特徴的な右舷側が見えなくて少し残念！



「Iona」と海上自衛隊・練習艦「しまかぜ」(TV3521) 左端は修理中のフェリー「Red Eagle」



遊覧船「Solent Cat」本来はポーツマスの遊覧船では？



ロンドンの「かしま」と分かれて入港した「しまかぜ」



サザンプトンを拠点に遊覧等で活躍している
1955年製の元タンカーの現役蒸気客船「Shieldhall」



ワイトリンク(ポーツマス〜ワイト島航路)の両頭フェリー「Wight Sky」
ここサザンプトン港内で係船中か？



ワイト島のカウズ港 マリンテイストにあふれた素敵な街！



カウズに停泊中の英国国境警備隊のカッター「Seacher」



レッドファンネルの両頭フェリー「Red Osprey」



レッドファンネルの両頭フェリー「Red Falcon」



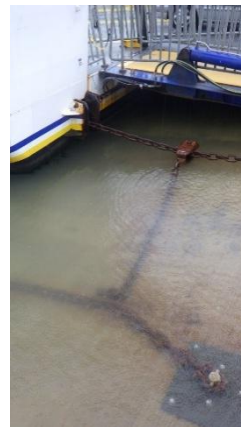
レッドファンネルの高速艇「Red Jet6」と「Red Jet7」(奥)



レッドファンネルの高速艇「Red Jet7」



カウズのチェーン・フェリー「Floating Bridge No.6」



チェーン・フェリー
両岸に渡されたチェーンを
手繰って前進する船
コッウオルズやウインダミアの項も参照

← その肝の部分



スペインのレプリカ・ガレオン船「Galeon Andalucia」
英国内を訪問し有料公開を行っていた



カウズ港内にて 元は内陸ウイーン付近のドナウ川で動いていた
ツイン・シティ・ライナーの双胴高速艇2隻、係船中か？
数年前にできた新船がこのワイト島で建造されている

10. ニューヘイブン

ニューヘイブンはドーバー海峡に面した港町で、白い断崖で有名なセブン・シスターズと、同じくリゾート地で有名なブライトンのほぼ中間に位置している。ここと対岸のフランスのディエップの間には DFDS が運航するカーフェリー航路（ブランド名は船の舷側に記された Transmancheferries）があり、1 日 2〜3 往復、片道 4 時間で結んでいる。この航路は地図上で言うと、ロンドンとパリを結ぶ、ほぼ直線上にあり、ここのフェリーのターミナルと鉄道駅（ローカル線なので便数は少ない）は隣接している。



英仏航路のフェリー DFDS「Côte D'albâtre」
2006 年製 18,425GT
僚船は同型の「Seven Sisters」



ニューヘイブン港 色とりどりの漁船群がいる（右）